

産業保安基本制度小委員会

— 産業保安分野における当面の制度化に向けた取組と今後の重要課題 —
基本構成(案)**第1章 産業保安を巡る環境変化と喫緊の課題**

第1節 産業保安を巡る環境変化

第2節 喫緊の課題

第2章 産業保安分野における当面の制度化に向けた取組

第1節 スマート保安の抜本促進(産業保安分野におけるテクノロジー化の推進)

1. スマート保安の促進を念頭に置いた新たな制度的措置(認定制度)のあり方
 - ・基本的な考え方
 - ・①高圧ガス分野、②都市ガス分野、③電力分野
2. 液化石油ガス分野における制度的措置の方向性

第2節 新たな保安上のリスク分野等への対応

1. 電力分野における取組
 - 小出力発電設備に係る規制の適正化
2. 高圧ガス分野における中堅・中小企業の保安レベル向上に向けた取組

第3節 災害対策・レジリエンスの強化に向けた対策

都市ガス分野における取組

- (1)災害時連携計画
- (2)災害時の保安業務のあり方

第4節 気候変動問題とカーボンニュートラル実現に向けた保安規制面における取組

1. カーボンニュートラルの実現を踏まえた水素等の保安規制面での利用環境整備
2. 燃料電池自動車等に関する規制の一元化
3. 風力設備の工事計画の適合性確認体制の見直しについて

第3章 今後の重要課題

第1節 各産業保安分野に共通した重要課題

1. 産業保安の将来を見据えた保安体制のあり方(保安業務の集約化・委託の円滑化等)
2. 産業保安における今後の技術基準等の策定のあり方
3. 産業保安における共通的・横断的な視点等について
4. 産業保安における横断的な重要課題((1)産業保安分野における多様な人材の活躍、(2)サイバーセキュリティ対策、(3)保安データの蓄積・活用)
5. スマート保安の促進に向けた取組その他各産業保安分野における今後の課題

第2節 今後の進め方と留意点(着実な施策推進とデータに基づく効果検証等)